

09年7月5日市警ニュース

JSS 和訳

## 「安全な自転車利用－責任を分け合おう」キャンペーン結果

6月28日月曜日に、一週間にわたって市警が行ったキャンペーン「安全な自転車利用－責任を分け合おう」が終了した。

係官は(キャンペーンを通じて)交通違反を犯した自動車利用者および自転車利用者に5,907枚の交通切符を発行した。発行された交通切符の内容は;

- ・ 不適当にドアを開けた、自転車に道を譲らなかったなどの自動車利用者に3,502枚。
- ・ 交通信号無視、歩行者に道を譲らなかったなどの、自転車利用者の走行中の違反に対して1,373枚。
- ・ 装備違反で自転車利用者に747枚。
- ・ 18歳以下の84人がヘルメット不使用で。
- ・ 自転車走行区分帯上の駐車に198枚の駐車違反切符。
- ・ 関連する各種の違反に伴う警告を受けた自動車および自転車利用者865人。
- ・ 411人が参加した、指導を含む自転車競演会が市内各所で10回開催された。

市警は自動車利用者に、バックミラーや肩越しの確認なしに、自転車の通り道で車のドアを開けることの危険を忘れないよう呼びかけている。又、方向転換する場合に死角の状況の確認をするかどうかで生死が分かれることをドライバーが認識してほしい。自転車利用者は交差点や車の出入り口付近で、右側から来る自動車の前を横切らないこと。道路を利用する人すべてが、安全な運転、責任ある乗り物利用、賢い立ち居振る舞い、そし

て交通法規の遵守によって責任を分担しなければならない。

「安全な自転車利用－責任を分け合おう」運動に関しさらに詳しい情報については、交通部広報事務所、電話416-808-1920まで連絡されたい。

交通部はトロント市内の安全で秩序ある交通実現に注力している。交通部の活動については Twitter (TrafficService) や Facebook (Toronto Police - Traffic Service)を通じて知ることが出来る。

### JSS 説明

当地は日本などに比べて極端に自動車社会化が進んでおり、良くも悪くも街路は自動車交通に便利に作られている。一方昨今の地球温暖化ないしはガソリン価格高騰などの影響で、自転車利用者は急速に増えているようだ。以前からも自転車利用者のための区分帯などの整備は徐々に進んできたようだが、まだ十分というには程遠いといわざるを得ない。

又、車を運転する立場から見ると、記事が指摘している不注意なドア開けは、自身でヒヤッとした経験もあり、さらに特に歩道側のドアを開けるのがドライバーではないことが多く、十分な注意が必要な事項である。一方、自転車利用者の不注意や無謀な動きも気になることである。

そ言った状況を前提にして考えると、警察の立場、「責任は皆にある」はきわめて妥当な指摘であり、どのような方法にせよ道路を共同で利用する以上、安全維持の責任は分担しなければならない。